

いて真剣さがうかがえた。

## 河東町中学校生徒の両親

指導の指針を得ることができた。

(三) 幼児の才能をのばす音楽、幼児画の学習については、子供が喜ぶのはテレビばかりでない、家事をしながら親子で楽しめる歌や絵があることを知り、親としての自信と喜びを知った。

(四) 家庭教育は小学校の入学から始まるという両親がまだ多く、知識の足りなさが指摘された。また若い両親や、祖父母には特にこのよだな学習機会が必要と感じられ、学習への参加を高めていきたい。



親子でよい音楽を聞く会

(二) 対象

心身ともに健全な中学生を育てるための家庭教育のあり方を学習する

## 六、学級の構成と内容 (表2参照)

激しく変遷する日々の中でも、子供と生活をともにし、親近感のある両親こそ教育の主体者でなければならないこと、両親みずからが子供の成長段階に応じた教育の方向を理解することが先決であるとして立案が進められた。

## 五、家庭教育学級の開設に当たつて

表2 家庭教育学級年間計画

月	学習課題	学習内容	時間	講師、助言者
%	○開講式 ○学習の進め方 ○家庭教育のあり方	1. 年間学習計画と学習の進め方 2. 家庭教育のあり方 (1)家庭教育のいいせつさ (2)家庭教育の特質 (3)望ましい家庭教育	1	講師 河東第一小学校長 一ノ瀬秀夫
%	○子供の身体の成長と健康	1. 中学時における身体的成長 2. 中学生のかかりやすい病気 3. 健康管理	3	講師 会津若松保健所長 緑川 正 助言者 河東中学校保健室主任
7	○反抗期の子供の指導	1. 子供の心理の発達段階 2. 反抗期とその指導	3	講師 河東第三小学校長 二瓶 政郎 助言者 河東中学校生徒指導主事
8	○中学生のためのスタミナ料理	1. 中学生のための料理のつくり方 2. 料理実習 3. 会食	3	講師 会津若松保健所主任栄養士 長谷川トキ子
9	○研修観察	1. 勝常寺 2. 能野神社(長床) 3. 只見川電源開発記念館 4. 柳津町民センター(昼食) 5. 本郷焼	8	
11	○文化講演を聞く	○文化講演を聞く 演題 未定	2	講師 町野 武
12	○中学生の進路指導を考える	1. 子供の希望と親の期待 2. 子供の能力と適正 3. 進路の指導	3	講師 会津教育事務所 伊藤 豊松 助言者 河東中学校進路指導主事
1	○家庭における道徳教育	1. 現代社会の道徳的風潮 2. 学校での道德教育 3. 家庭における道徳教育	3	講師 会津教育事務所指導主事 米畠 勇 助言者 河東中学校道徳主任
2	○アメリカの家庭教育 ○閉講式	1. アメリカの家庭教育の現状 2. アメリカの家庭教育と日本の家庭教育 3. 年間学習の反省	1	講師 高田教会宣教師 クレーラ夫人

## □ 学級生へのアンケート結果から

(学習は役立ちましたか)

- たいへん役立った 二九%
- 役立つた 四九%
- まあまあだった 二三%
- 期待したほどでなかつた なし

○ 学級生の声 (学習を終えて)

○この一年間、九回、二十八時間にわたりて研修を続けたが、親としての責任をますます感じ、子供に負けずまた、現代社会の風潮に流されることがなく、子供のつえになつていきたい。

○今までやや無関心だった子供の身体的・精神的な面が理解され、今後の

(一) 学級生手帳をつくり、次の学習で質問したいこと、まだ講義でふれてもらいたいことについてスペースを作り、自発的な予習をうながし、提出させた。そのため、グループや、地域で話し合いができるようになり、三期目の学級のもち方の反省と評価がされてきた。

(二) 乳幼児学級とは違い、両親の強い関心があるとはいえ、兼業農家が多く就労者に対する受講対策について、企業等の理解や協力をけいもうする努力が大事な課題になってきている。

## 七、評価と反省